

## 平成30年度大野南地区まちづくり会議 第8回全体会【会議結果】

日 時 平成30年9月11日(火)  
午後2時から午後3時40分  
場 所 南区合同庁舎 3階 講堂  
委 員 出席人 19人  
欠席人 6人  
傍聴者 1人

### 1 開会(事務局)

### 2 会長あいさつ

### 3 議題

#### (1) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

大野南地区自治会連合会より

- ・大野南ふるさとまつりが9月29日に開催される。

相模大野銀座商店街振興組合より

- ・大野銀座祭が9月30日にプラザシティ公園と大野銀座通りで開催される。サンバパレードも行う予定。

相模大野南新町商店街振興組合より

- ・さんま祭りが9月30日に開催される。飲食店も5店舗ほど出店する。

医療法人社団仁恵会黒河内病院より

- ・8月5日から大野南地域包括支援センターが黒河内病院内で「いきいき百歳体操」を開催している。5回ほど開催したが、毎回30名ほどの方が参加している。

相模原市立上鶴間公民館より

- ・地区体育祭が9月16日に南大野小学校で開催される。

相模原市立大野南公民館より

- ・「第13回大野南クラシックコンサート」が9月22日に相模原南市民ホールで開催される。

大野南地区社会福祉協議会より

- ・10月1日に相模大野駅前赤い羽根共同募金を行う。

学校法人相模女子大学より

- ・10月14日に相模原JCフェスが相模女子大学内で開催される。
- ・11月3日と11月4日に学園祭が開催される。パレードは11月3日に行く。
- ・高等部の学生がアジア大会のスケートボードにおいて、銀メダルを2個獲得した。

(2) 地域活性化事業交付金申請に対する意見について

経過

資料に基づき、事務局と古木委員から説明を行った。

主な意見・質疑等

- ・運営費とは何か。

維持管理にかかる経費。来年度以降も経費としてかかるが、自治会の予算で負担する。

- ・アクセス数はどれくらいを想定しているか。

アクセス数は想定しておらず、実際に始めてみないとわからない。

- ・高齢者にスマートフォンの利用方法を教えるのは難しいが、子育て世代の住民にとっては自治会の情報を取得しやすくなるのでは。

結果

原案のとおり承認された。

(3) まちづくり懇談会のテーマ・課題事項について

経過

資料に基づき、事務局から説明を行った。

主な意見・質疑等

懇談会テーマ1について

- ・ひばり放送はテレビ神奈川のデータ放送で確認することができるが、テレビ神奈川が映らない地域もある。

- ・「各種の補助制度を利用した発災前の自助・共助の取組みにも限界を感じている。」とは具体的には何か。

自主防災組織活動事業費補助金のことであるが、毎年減額しており、大型の資機材を購入できない等。

懇談会テーマ2について

- ・運動系のクラブに所属している子どもは体力が平均値を超えているが、それ以外の子どもが平均値を下げてしまっている。この子達の体力向上のため、自由に遊ぶことができる場所を提供すべき。

- ・すでに小学校は土曜日、日曜日に団体が終日利用しており、一般の子どもが利用できる空きはないのでは。

土曜日は団体利用をさせないで校庭を開放するなど、土曜日、日曜日の学校利用の方法について検討すべき。

- ・児童クラブに入っている子どもは放課後に校庭で遊ぶことができるが、児童クラブに入っていない子どもは利用できない。

- ・大人が介入しないで遊べる場所がないと、子どもの自主性が育たない。

結果

テーマについては、この2つで決定する。内容について修正して次回のまちづくり会議で確認を行うこととする。

- ( 4 ) その他  
・特になし

次回の全体会は、平成30年9月21日(金)午後2時からとする。

以 上

平成30年度大野南地区まちづくり会議第8回全体会出席委員名簿

(出席者19名 欠席者6名)

番号	団体名	団体での役職	氏名	出欠席
1	大野南地区自治会連合会	会長	大木 恵	出席
2		副会長	古木 幸一	出席
3		副会長	渋谷 典彦	出席
4		副会長	瀬戸 量平	出席
5		前会長	有泉 健一	出席
6	大野南地区社会福祉協議会	会長	中島 千尋	出席
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会長	青木 智野	出席
8	女子大通り商工振興会	会長	河内 文雄	欠席
9	相模大野北口商店会	会長	斎藤 誠	欠席
10	相模大野銀座商店街振興組合	事務局長	大木 茂行	出席
11	相模大野南新町商店街振興組合	副理事長	山科 公次	出席
12	ポーノ会	役員	田中 修	欠席
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	理事	後藤 一郎	出席
14	相模原市立谷口台小学校PTA	会長	金子 清美	出席
15	相模原市立南大野小学校PTA	会長	倉澤 正人	出席
16	相模原市立谷口中学校PTA	副会長	渋谷 雅子	出席
17	学校法人相模女子大学	理事(事務局長)	速水 俊裕	出席
18	大野南地区老人クラブ連合会	副会長	畠山 秀美	欠席
19	相模原市立大野南公民館	館長	中村 洋子	出席
20	相模原市立上鶴間公民館	館長	稲毛 易子	出席
21	大野南地域包括支援センター	管理者	田中 宣行	出席
22	上鶴間地域包括支援センター	管理者	今井 英子	出席
23	経験有識者		新村 玲子	欠席
24	公募		宗形 貴介	出席
25	公募		吉田 涼夏	欠席

# 大野南地区まちづくり会議 第8回全体会 次第

日 時 平成30年9月11日(火)

午後2時から

場 所 南区合同庁舎 3階 講堂

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 議 題

(1) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

(2) 地域活性化事業交付金申請に対する意見について.....資料1

(3) まちづくり懇談会のテーマ・課題事項について.....資料2

(4) その他

### 今後のまちづくり会議開催予定

第9回全体会： 9月21日(金)午後2時 南区合同庁舎 3階 講堂

第10回全体会： 10月 4日(木)午後2時 南区合同庁舎 3階 講堂

## 大野南地区まちづくり会議委員名簿

(平成30年6月19日現在：敬称略)

番号	団体名	団体での役職	氏名	役職
1	大野南地区自治会連合会	会長	大木 恵	会長
2		前会長	有泉 健一	副会長
3	大野南地区社会福祉協議会	会長	中島 千尋	副会長
4	学校法人相模女子大学	理事(事務局長)	速水 俊裕	副会長
5	女子大通り商工振興会	会長	河内 文雄	副会長
6	大野南地区自治会連合会	副会長	古木 幸一	
7		副会長	渋谷 典彦	
8		副会長	瀬戸 量平	
9	大野南地区民生委員児童委員協議会	会長	青木 智野	
10	相模大野北口商店会	会長	斎藤 誠	
11	相模大野銀座商店街振興組合	事務局長	大木 茂行	
12	相模大野南新町商店街振興組合	副理事長	山科 公次	
13	ポーノ会	役員	田中 修	
14	医療法人社団仁恵会黒河内病院	理事	後藤 一郎	
15	相模原市立谷口台小学校PTA	会長	金子 清美	
16	相模原市立南大野小学校PTA	会長	倉澤 正人	
17	相模原市立谷口中学校PTA	副会長	渋谷 雅子	
18	大野南地区老人クラブ連合会	副会長	畠山 秀美	
19	相模原市立大野南公民館	館長	中村 洋子	
20	相模原市立上鶴間公民館	館長	稲毛 易子	
21	大野南地域包括支援センター	管理者	田中 宣行	
22	上鶴間地域包括支援センター	管理者	今井 英子	
23	経験有識者		新村 玲子	
24	公募		宗形 貴介	
25	公募		吉田 涼夏	

## 地域活性化事業交付金申請に対する意見について

30 - 4

事業名	中和田自治会ホームページ作成事業（1年目）	
団体名 構成員数	自治会法人 中和田自治会	2,330 世帯
事業目的	自治会のホームページを作成することで、自治会活動の必要性を理解し、自治会組織に加入してもらう。自治会役員の仕事の軽減を計る。自治会会員に正しい情報を速やかに伝達する。	
事業内容	自治会活動をホームページに公開、公表することで当会の活動内容を周知する。 自治会役員の相互の速やかな連絡体制を確立する。 地域の魅力、問題点を共有する。	
事業費 交付金申請額	事業費：530,000円（交付金申請額：370,000円） 主な経費内訳 ホームページ作成費 480,000円 運営費 50,000円	
過年度事業実施 事業費 交付金交付状況 事業効果		
特記事項	会員数を初年度5%増を目標とする。 関連団体とのリンクを設定する。	

## 大野南地区まちづくり懇談会テーマ 1

テーマの選定について、どちらか選んでください。

地区の課題で、区全域や隣接する地区等に及ぶものなど

地区固有のもの、その他、地区として特に取り組むべきとして地区が選定したものなど

## テーマの概要・内容

概 要	地域防災力の強化につながる「災害発生前の公助」のあり方について
内 容	<p>大規模災害での被害を少なくするためには、災害発生前の取組みが重要と考え、各自 自主防災隊は、日頃より連絡体制の強化、防災訓練及び防災物品の充実等に努めている。 しかし、近年は、地震だけではなく、ゲリラ豪雨等の「今までに経験したことのない 災害」が頻発しており、それらに対する現状の防災体制は有効なのか不安に感じるとと もに、各種の補助制度を利用した発災前の自助・共助の取組みにも限界を感じている。 そこで、更なる地域防災力強化のため、発災前の公助のあり方について懇談したい。</p>

## 上記テーマに関する課題事項と内容

課題事項 1	市民が身近に感じることができる危機管理体制の構築について
内 容	<p>想定外の災害に迅速に対応していくには、現在の危機管理局に集中した防災体制で各 区の地域性の違いに対応できるのか不安である。各区に専門の危機管理部局を設けるこ とで、より地域に密着した危機管理体制を構築することができるのではと考えるが、区 役所の権限強化という観点も含め、市の考えを伺いたい。</p> <p>また、災害情報や避難情報を確実に市民に伝達する体制づくりも重要な公助と考える が、近年の騒音対策が進んだ住宅では、ひばり放送の内容が聞き取れないことが多々あ り、防災メールは、高齢者にとっては扱いが難しいとの声を聞く。そこで、総務省も普 及促進をしている戸別受信機の設置等、市民への情報伝達体制の更なる強化が必要と考 えるが、市の考えを伺いたい。</p>

課題事項 2	共助の体制の強化に繋がる新たな補助制度の構築について
内 容	<p>自主防災隊の活動は、市の補助制度に支えられている部分が多いにも関わらず、毎 年のように自主防災組織活動事業費補助金が減額されている。そのため、住民全体が必 要とする防災倉庫や仮設トイレ、テント等の購入単価の高い物品の購入には、本補助制 度を利用することが難しく、本来は各家庭で備蓄すべき食料品や飲料水等、比較的購入 単価の低い物品の購入に充てられているのが現状である。このような状態は、住民の自 主防災隊依存を助長し、自助能力を低下させるだけでなく、ひいては共助の体制の弱体 化に繋がるため、大型の資器材の購入に関しては別の補助制度を設けるといった地域防 災力の向上に結びつく新たな制度が必要と考えるが、市の考えを伺いたい。</p>

## 懇談時メモ

項 目	地域でできること、市がやるべきこと、協働でできること



## 大野南地区まちづくり懇談会テーマ2

テーマの選定について、どちらか選んでください。

地区の課題で、区全域や隣接する地区等に及ぶものなど

地区固有のもの、その他、地区として特に取り組むべきとして地区が選定したものなど

### テーマの概要・内容

概 要	子どもの遊び場の充実について
内 容	近年、相模原市の小中学校の児童生徒の体力や学力については、全国平均を下回っているとの報道がされており、将来を担っていく子どもたちの現状に非常に強い危機感を持っている。このような問題の根底には、子どもたちがのびのびと遊べる場が少ないことが原因の一つではないかと考えるが、これに対し、児童生徒の体力や学力、不登校や登校渋りといった登校状況等について市全体、また南区の現状についてもお示しいただいたうえで、市はどのような対策を講じていくのか、また、どのように地域と連携していくのか、地域に期待することも含めて懇談したい。

### 上記テーマに関する課題事項と内容

課題事項 1	子どもたちが自由にのびのびと遊べる場づくりについて
内 容	地域で子どもたちが遊べる場所としては、公園やふれあい広場、子どもの広場等があるが禁止事項が多く、野球やサッカーなどのボール遊びができない場所も多い。しかし、監視員等がいるわけではないので、実際には、子どもたちはボール遊びをしている現実があるわけだが、これらの施設は住宅や道路と隣接しており、近隣トラブルやボールの飛び出しによる交通事故の発生も危惧される。 子どもたちが安全にのびのびと遊べる場としては、学校の校庭が最適と考えるが、土日の学校の校庭開放がなくなり、子どもたちの行き場がなくなっている。このことについてどのように考えているのか、学校の校庭の有効活用という点も含めて、市の考えを伺いたい。

課題事項 2	学校と地域社会の連携について
内 容	日々、登下校の見守り隊や学校評議員制度など様々な児童生徒に関わるボランティアに参加しているが、このような取組みに関する情報は保護者に向けたものが多い。子どもたちをより多くの目で見守るためには、もっと広く情報発信し、地域と情報を共有すべきと考えるが、小中学校の地域との連携についてどのように考えているのか、地域に期待していることも含め、市の考えを伺いたい。 また、これらの情報は、庁内でもしっかりと共有していくべきと考えるが、どのように市が取り組んでいくのか、市の考えを伺いたい。

### 懇談時メモ

項 目	地域でできること、市がやるべきこと、協働でできること